

連載コラム

～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第31回>

皆様、こんにちは、コーチング研修会社ドリームフィールドの阿部侑生ことユッキーです。

今年の夏は随分涼しかったですね。

暑すぎるのも大変ですが、それなりに暑くないとさびしいなあ、と思ってしまう日々でした。

そんななか 8 月はチャンプ学習スクールとまるがく自立学習塾共催の「勉強甲子園」の初日にコーチング講座を担当させていただきました。子供達と触れ合うことができ嬉しかったです！素直で頑張っているみんなを応援しています！もちろん保護者のみなさまのことも、ですよ。

さて、先日、ある高校で講演をしてきました。その時にとてもショックなことがありました。2時間の講演だったのですが、10分間の休み時間に女の子達4人が私に話しかけてくれて、夢の話をしました。

まず、私は A 子さんに聞きました。「将来、どんな仕事をしたいの？」と。

A 子さんは「将来は保育士になりたいです」とおっしゃいました。

すると横で話を聞いていた D ちゃんが、こんなツッコミをしてきました。

「保育士？儲からないからやめたほうがいいよ」

A 子ちゃんはもちろん、聞いていた誰もが(が~~~~ん！)という表情になりました。

次に、隣にいた B 子さんに将来の夢をききました。B 子さんは照れながら「女優です！」と言いました。するとすかさず B ちゃんはツッコミを入れてきた！！

「女優？そんなのより、正社員にならないと、将来不安だよ！」

私は D ちゃんの発言にたじろぎつつ、もうひとり C 子さんに夢をききました。

C 子さんは「私は子供が大好きだから保育士になりたいです」と言いました。

するとすかさず、ツッコミ D ちゃんは

「保育士は重労働で責任も多い割に給料が安いからね～」と言いました。

夢をバツサリ否定された 3 人は半分ブチギレて、D ちゃんに

「じゃあ、あんたは将来何になりたいのよ！」と言いました。

すると D ちゃんは言いました。

「本当は保育士になりたいけど、資格取って看護師になる」と。

私はDちゃんの話聞いていて、まるでどこかの大人が話しているようだな、と思いました。
まだ実際になにも経験していないのに、聞いた話を鵜呑みにして、
本当だと思い込んで話をしているのです。
きっとDちゃんは「保育士になりたい」と言った時に
誰かに「やめときな」って否定されたことがあるのではないのでしょうか。

ちなみに、人の夢を否定する人を「ドリームキラー」といいます。キラーとは殺し屋という意味です。
人は夢を否定されると、今度は自分が誰かのドリームキラーになってしまうことがあります。
そして、恐ろしいことに、自分のドリームキラーは「自分」以外の何者でもないのです。
相手にしていることは自分にしているのと同じなのです。

Dちゃんのように、自分の夢を誰かの言葉で簡単に変えられてしまうのはいいことなのでしょうか。
自分でやってみて、失敗して、経験にして、自分で考えてみて、軌道修正したほうが
絶対にいいはずですよ。私は何度か転職をする中でようやく天職に巡り会えました。

親に夢を否定されたこともあるし、失敗もたくさんしました。回り道をしましたが、
いろんな仕事をして、いろんな人と出会って、わかりました。

もしもあなたの周りに夢を語る人がいたら、まずは否定せずに、励まして、
みとめてあげてください。誰のものでもない、その人の人生なのですから。
そうすれば必ず、自分の好きなことで世の中の役に立つ人になるはずですよ。
勉強甲子園では言葉の力など心を整える話をしましたので、
ぜひお子さんに聞いてみてくださいね。

プロフィール

阿部 侑生（あべ ゆき）

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可（財）生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。
フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH! バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、
その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等を
テーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。